

# 信濃川水系荒砥沢川 洪水浸水想定区域図 (想定最大規模降雨)

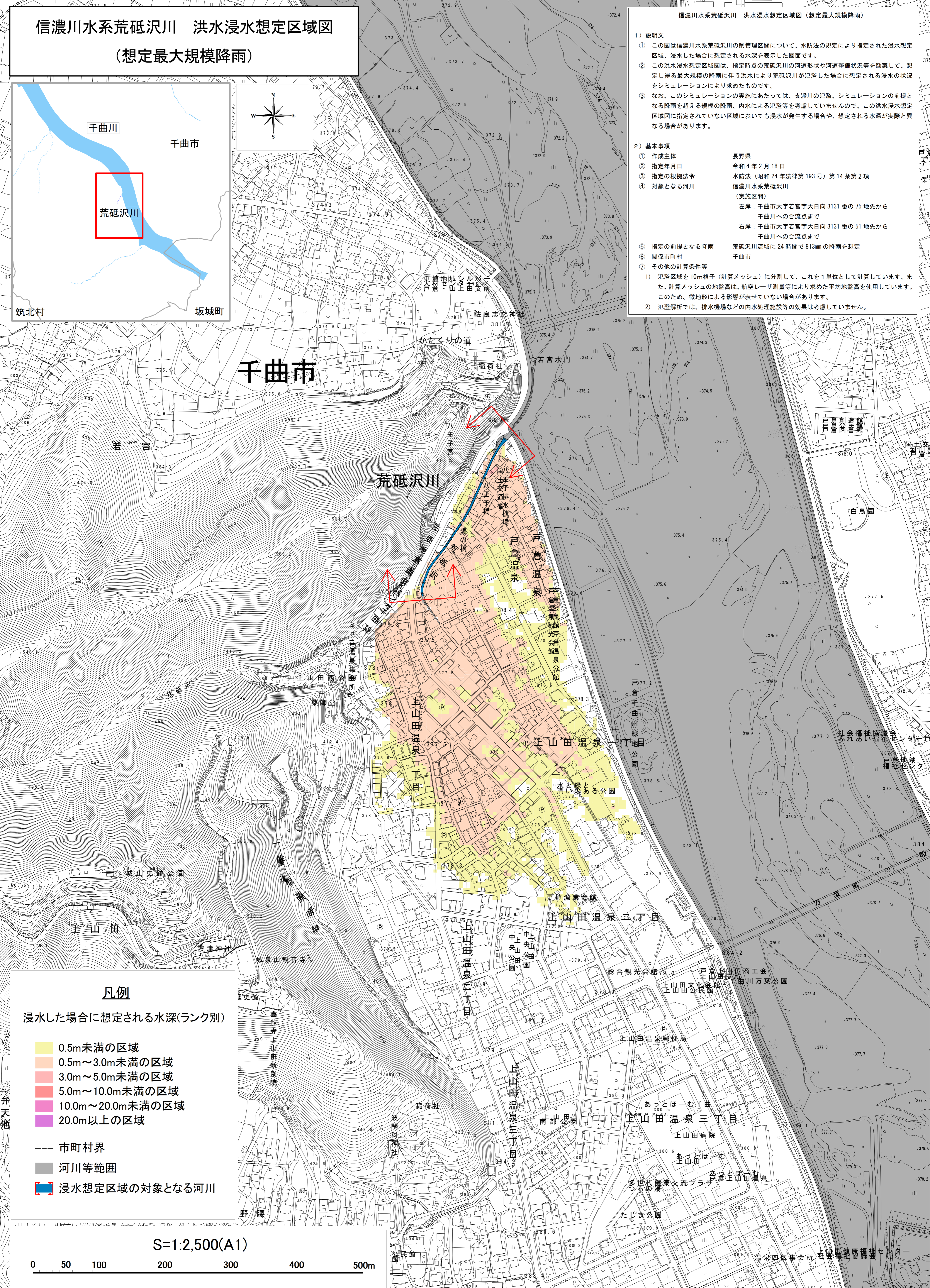
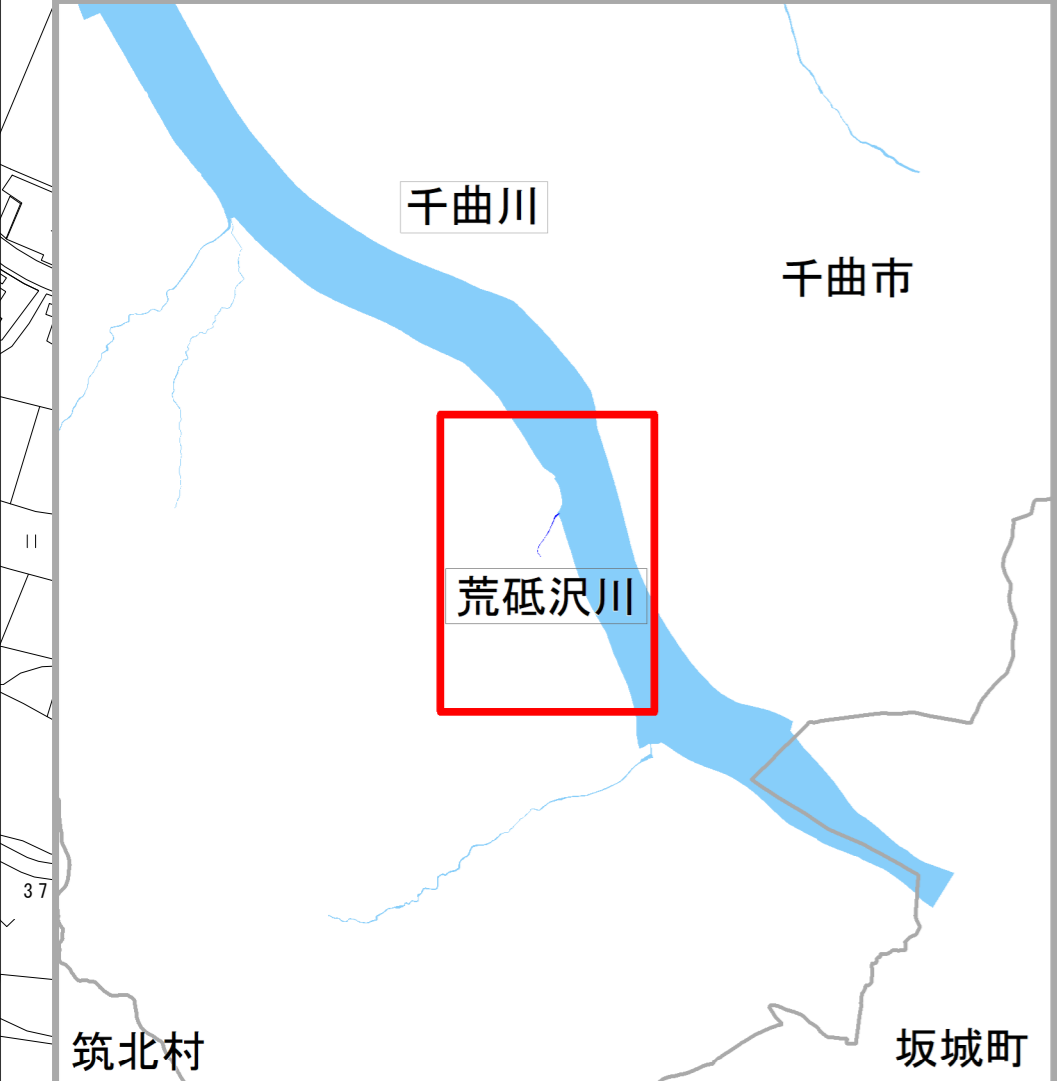
信濃川水系荒砥沢川 洪水浸水想定区域図 (想定最大規模降雨)

## 1) 説明文

- この図は信濃川水系荒砥沢川の県管理区間について、水防法の規定により指定された浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- この洪水浸水想定区域図は、指定時点の荒砥沢川の河道形状や河道整備状況等を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により荒砥沢川が氾濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより求めたものです。
- なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支派川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域図に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際と異なる場合があります。

## 2) 基本事項

- 作成主体 長野県
- 指定年月日 令和4年2月18日
- 指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項
- 対象となる河川 信濃川水系荒砥沢川  
(実施区間)  
左岸: 千曲市大字若宮宇大日向3131番の75地先から千曲川への合流点まで  
右岸: 千曲市大字若宮宇大日向3131番の51地先から千曲川への合流点まで
- 指定の前提となる降雨 荒砥沢川流域に24時間で813mmの降雨を想定
- 関係市町村 千曲市
- その他の計算条件等
  - 氾濫区域を10m格子(計算メッシュ)に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、航空レーザ測量等により求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。
  - 氾濫解析では、排水機場などの内水処理施設等の効果は考慮していません。



## 凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5m～3.0m未満の区域
- 3.0m～5.0m未満の区域
- 5.0m～10.0m未満の区域
- 10.0m～20.0m未満の区域
- 20.0m以上の区域

- 市町村界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の対象となる河川

S=1:2,500(A1)

